

都市再生整備計画 事後評価シート

い せ し ちゅうしん し が い ち かっせい か く い き ち く
伊勢市中心市街地活性化区域地区

れ い わ
令和7年2月
み え け ん い せ し
三重県 伊勢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県		市町村名	伊勢市		地区名	伊勢市中心市街地活性化区域地区			面積	153 ha
交付期間	令和元年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	440.5	国費率	0.499		
1)事業の実施状況	事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(伊勢市駅北口駐輪場) 高質空間形成施設(宮後1丁目1号線、鳥羽松阪線、岡本線上線ほか2線)								
		提案事業	地域創造支援事業(連絡経路整備事業-伊勢市駅前地区、商店街等振興対策事業-中心商店街、空家対策事業-中心市街地活性化区)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(伊勢市駅北口駐輪場)			用地取得が難航し、計画期間内での事業実施が見込めないため削除した。		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			目標から「駐輪場の再整備」を削除
		提案事業	—			—		—			—
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(宮後溝口線)			関係商店街の合意が得られたことから、周辺道路と同様に景観に配慮した舗装に改修する事業が追加となった。		指標1を変更する。(伊勢銀座新道の通行量増加を見込んで、28人を加えた数値に変更)			
		提案事業	地域創造支援事業(立地適正化計画推進事業-都市計画区域(伊勢市のみ)) 事業活用調査(都市再生整備計画事後評価)			【地域創造支援事業(立地適正化計画推進事業-都市計画区域(伊勢市のみ))】 見直しのタイミングとなり、事業が追加となった。 【事業活用調査(都市再生整備計画事後評価)】 本事業の事業効果を評価するために追加となった。		影響なし。			
	交付期間の変更	当初変更	平成31年度～平成35年度 令和元～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		指標2を変更する。(令和5年の推計値を令和6年の推計値に変更)				
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標	単 位	従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ 予定時期
		指標1	商店街及び伊勢市駅周辺の歩行者数	人	3,752	H29	3,780	R6	2,957	△	● 見込み
指標2		地区内人口	人	7,619	H29	6,950	R6	6,927	△	● 見込み	令和6年度
指標3		アンケートによる中心市街地の取組みについての満足度	-	3.5	H27	3.5	R6	3.4	×	● 見込み	次期計画評価時
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		その他の数値指標1	レンタサイクル利用者数	人	4,181	H29			4,726		—
	その他の数値指標2	アンケートのその他の項目	-	3.57	H27			3.58		—	
4)定性的な効果発現状況	本事業により、地元を主体としたまちづくり活動が活発化し、継続的なまちづくりの気運・基盤が発現している。										
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況		今後の対応方針等			
	モニタリング	指標1について商工労働課・都市計画課が実施する歩行者通行量のモニタリングを実施 指標2について推計人口によるモニタリングを実施 指標3についてまちかどアンケートによる満足度のモニタリングを実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 指標1については毎年度の商工労働課・都市計画課が実施する歩行者通行量調査により確認する 指標2については推計人口により確認する 指標3については次期計画決定時のまちかどアンケートにより確認する。				
		住民参加プロセス	道路整備に当たり、基本設計の段階から地元商店街等と協議を重ね、形態、デザイン、色、工事日程等を決定した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 引き続き、必要に応じて同様の住民参加プロセスを事業に取り入れる。			
	持続的なまちづくり体制の構築	地区商店街と連携し、今後の道路空間の利活用に向けた検討組織を立ち上げる。			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載できなかった		● 引き続き、組織の活動を継続する。				

様式2-2 地区の概要

伊勢市中心市街地活性化区域地区(三重県伊勢市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
伊勢市駅周辺の道路の再整備と空家対策・商店街の活性化対策への支援により、住環境の向上を図り中心市街地のかつての賑わいを再生する。 ・商店街及び伊勢市駅周辺の活性化を図り、かつての賑わいを取り戻す。 ・空家対策等により区域内の人口減少率を85%(自然増減相当分)に抑える。 ・道路の再整備や空家対策により、住環境の向上を図る。		商店街及び伊勢市駅周辺の歩行者数	単位:人	3,752	H29	3,780	R6	2,957	R5
		地区内人口	単位:人	7,619	H29	6,950	R6	6,927	R5
		アンケートによる中心市街地の取組みについての満足度	単位:—	3.5	H27	3.7	R6	3.4	R6
まちの課題の変化		・第一種市街地再開発事業や周辺商店街の道路整備等、駅周辺の交流が促進され、商店街振興対策等により賑わいに繋がった。(課題:高齢化と人口の減少が著しい中心市街地において、人と人との交流が希薄になり、一部の地区を除き賑わいも無くなっている。) ・道路整備による生活環境の向上や第一種市街地再開発事業による住宅供給により人口減少が抑制された。(課題:中心市街地の空家率が比較的高く、住環境の悪化や活力の低下が懸念されている。) ・伊勢市駅から第一種市街地再開発事業地区への経路整備や、バリアフリー対策により高齢者等全ての人にとって歩きやすい環境が整っている(課題:少子高齢化が進み、これまで以上に高まる多様なニーズに対応した環境整備が求められている。) 							
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・市街地における交通利便性の向上を目指し、歩行者だけではなく、自転車利用者にとっても安全で快適な空間の確保、整備を推進する。 ・立地適正化計画と整合させ、既存都市機能の維持・拡充や商業施設・子育て支援施設の拡充により中心市街地の活性化を図る。また、それらの機能を支える道路や公園、緑地の整備等を引き続き行い、中心市街地の都市機能や住環境が向上するよう取り組む。 ・バリアフリー化は幹線道路や主要な施設に近い場所だけではなく、市全体で取り組むべきことであることから、今後は市道や生活道路にも波及させていく。							